



—令和5年5月18日（木）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 郡山市立桃見台小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～

本校における「スタートカリキュラムの作成」について

- (1) カリキュラムの見直しの必要性
- (2) 「スタートカリキュラム」作成にあたっての留意点
- (3) 本校の「スタートカリキュラム」の特徴

桃見台小学校では、入学児童や1年生の担任が戸惑うことなく安心して学校生活をスタートできるよう、スタートカリキュラムが重要であると考え、年度当初の時間割を見直して作成し実践しています。作成にあたっては、全教職員に周知されているのか、幼児期の教育・保育からの連続性や一貫性に配慮した計画書であるか等に留意し、郡山版スタートカリキュラムを基に作りました。特徴としては、弾力的な時間割を設定し、ゆったりとした活動時間を位置づけて、児童を取り巻く学習環境を整えています。

1学年を画一的に最年少とみるのではなく、一人一人の発達や個性を受け止め、丁寧な対応が意欲的な学習につながることを、実践発表を通して理解できました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 桃見台小学校の発表について

- ・スタートカリキュラムの研究が素晴らしく、即実践できるように作成されており、一つ一つが子ども達の円滑な接続のために実行されていることが感じられ、素晴らしい発表でした。
- ・情報過多にならず、環境や時間配分、先生方のきめ細やかな対応で、児童が自ら学べる実践事例を聞くことができ大変勉強になりました。

☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・幼保で学んだことを小学校へ接続し、子ども達の期待や意欲を受け止めて、学習に取り組めるよう配慮することが必要である。
- ・安心感を持たせるための環境作りとしては、視覚的な表示も必要であるが、人との関わりを通して、自ら考えて、行動する手立てが大事である。

《参加者からのアンケートから》

- ・学校の取り組みや先生方の意見を聞いて、日々の保育の中での疑問や不安が、自分の中で整理できました。園に持ち帰り、職員で共有していきたいと思います。(保育所：参加者)
- ・この事業は、現場の声を伝え、伺うことができる良い機会です。グループ協議では所属や立場の違うメンバーと有意義な話し合いができました。また、参加させていただきます。(小学校：参加者)

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。